

# 平成15年度調査研究報告書一覧

(財)年金シニアプラン総合研究機構では平成15年度の研究成果を公開しております。

タイトル	主な内容	発行時期	定価
ポートフォリオの管理に関する調査研究:パッシブ運用のあり方	○パッシブ運用において超過収益を評価対象とすることに関する研究、流動性リスクや倒産リスクを考慮することの影響等に関する研究	平成16年3月	1,900円
ポートフォリオの管理に関する調査研究:アクティブ運用の適正規模及び運用方法の拡大適否(株式)	○アクティブ運用(株式資産クラス)におけるファンドタイプごとの適正な資産運用規模に関する研究、マーケット・ニュートラルやロング・ショート導入の効果に関する研究	平成16年3月	2,000円
ポートフォリオの管理に関する調査研究:アクティブ運用の適正規模及び運用方法の拡大適否(債券)	○アクティブ運用(債券資産クラス)におけるファンドタイプごとの適正な資産運用規模に関する研究、外国債券の投資対象制約のあり方に関する研究	平成16年3月	1,300円
年金運用の投資対象拡大に関する研究	○証券化商品及びプライベート・エクイティに関する市場の状況、商品特性や投資意義、年金基金としての投資や運用管理上の留意点等に関する研究	平成16年3月	1,700円
公的年金の受託者責任に関する調査研究	①諸外国(カナダ・米国・アイルランド)の公的年金の受託者責任に関する規定の調査研究 ②受託者責任の意義及びERISAにおける受託者責任に関する研究	平成16年3月	1,500円
内外債券MBS運用に対するリスク管理に関する研究	○年金基金がMBS(不動産担保ローンを原資とする証券化商品)に投資する場合の具体的なリスク管理手法や留意点等についての日米比較を交えた研究	平成16年3月	2,200円
支払保証保険者国際会議に関連する調査・研究	○平成15年度に支払保証保険者国際会議が日本で開催されることを踏まえた諸外国の支払保証制度に関する研究	平成15年12月	1,500円
超低金利時の国内債券運用に関する調査研究	○国内債券と同様のリスク特性で期待収益率の向上が期待できるような国内債券の代替投資対象資産に関する研究	平成16年3月	1,600円
人事・財務両面から見た企業年金等退職給付プランのあり方に関する研究 総括・総合	○企業年金等の退職給付プランが果たす役割やそこに求められる要素、国の関与のあり方等に関する研究	平成16年4月	2,000円
年金制度の長期的な制度体系のあり方に関する研究	○平成16年の年金改革を早期に終了した上で、より安定的で実現可能性の高い年金制度のあり方を探るための研究	平成16年4月	1,400円
諸外国の老齢所得保障の基本的枠組みとその考え方に関する研究<アジア・オセアニア編>	○アジア・オセアニアの各国(オーストラリア、ニュージーランド、中国、韓国、シンガポール)における老齢所得保障の基本的枠組みや政策決定プロセス等に関する研究	平成16年3月	1,500円
欧米における企業年金再構築戦略・コーポレート・ガバナンス・ファンド等に関する調査研究	○英国及び米国における年金制度や会計制度の動向、コーポレート・ガバナンス・ファンドの実態等についての直近の状況の調査研究	平成16年3月	1,500円

※ 調査研究報告書をお求めの場合は、「[調査研究報告書購読申込書](#)」をFAXまたはE-Mail等でご送付ください。

※ 別途、実費分の送料を申し受けます。

●報告書の購入およびお問合せはこちらへ  
財団法人 年金シニアプラン総合研究機構  
〒108-0074 東京都港区高輪1-3-13  
NBF高輪ビル4F (総務企画部)  
TEL 03-5793-9411 FAX 03-5793-9413  
■E-Mailアドレス : [soumubu@nensoken.or.jp](mailto:soumubu@nensoken.or.jp)